

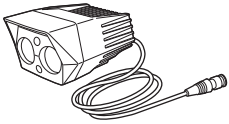


CATEYE STADIUM2

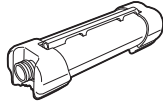
HL-EL920RC 日本語



構成品一覧



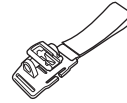
ライトユニット



BA-904 バッテリーユニット (リチウムイオン)



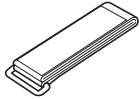
H-34N ブラケット



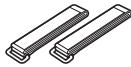
ヘルメット用ブラケット



バッテリーチャージャー



取付ベルト



補助ベルト (2本)



ワイヤーカバー (3本)



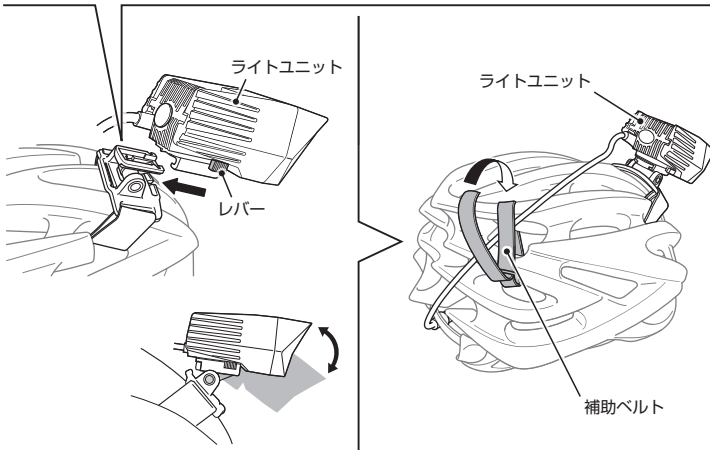
延長コード

ヘルメットへの取付方法

1



ブラケットベルト



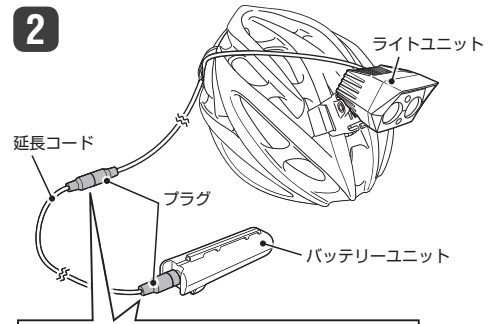
ライトユニット

レバー

ライトユニット

補助ベルト

2



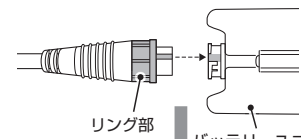
ライトユニット

延長コード

プラグ

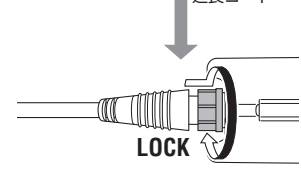
バッテリーユニット

ラインを合わせて接続



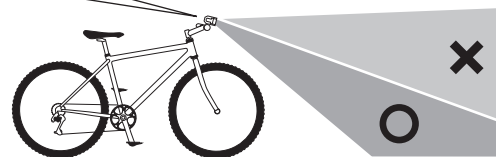
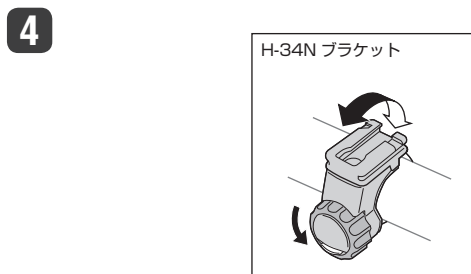
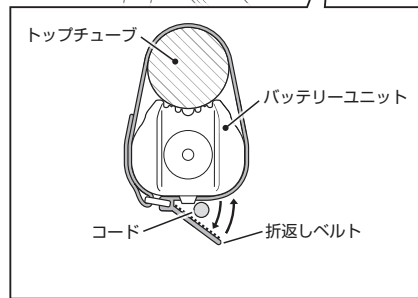
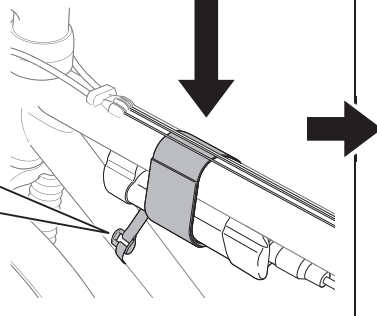
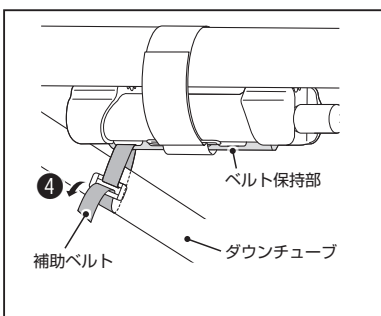
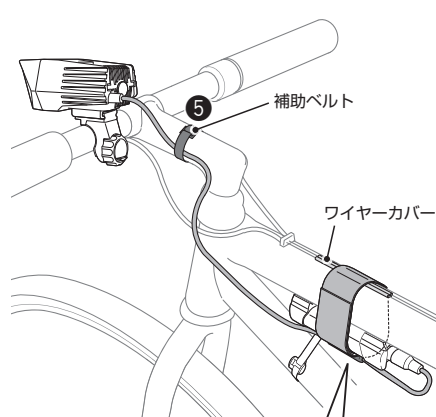
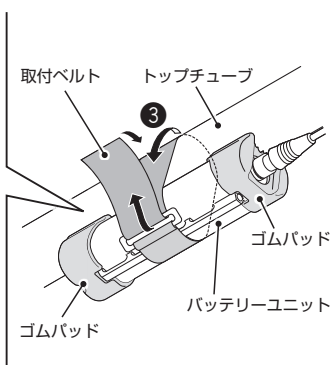
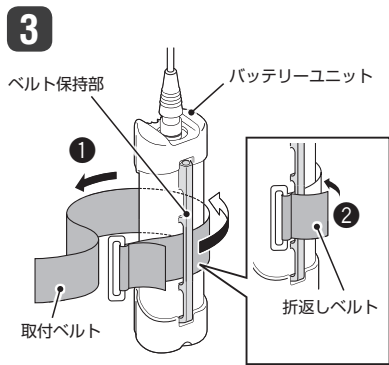
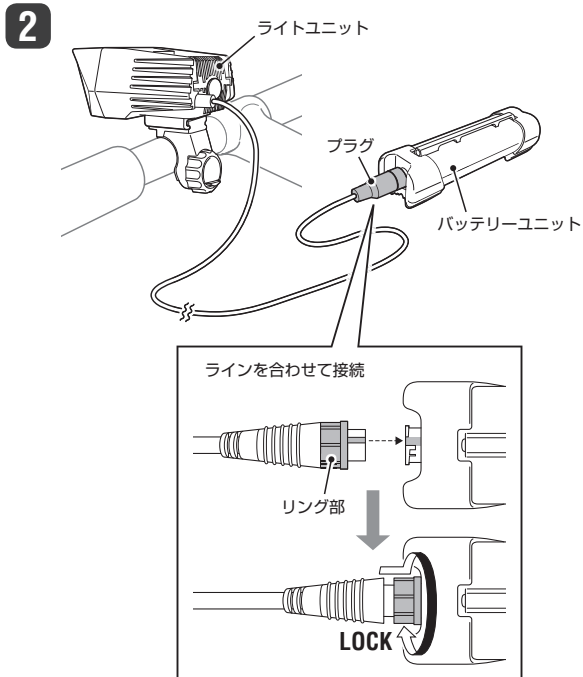
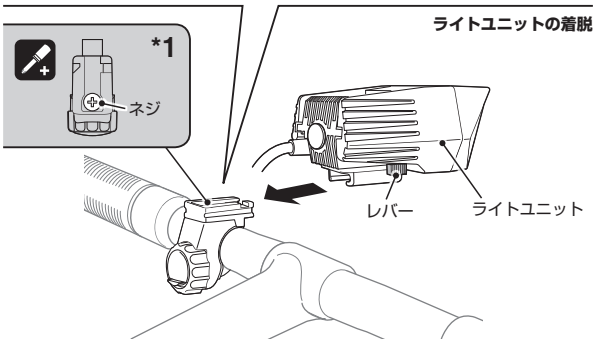
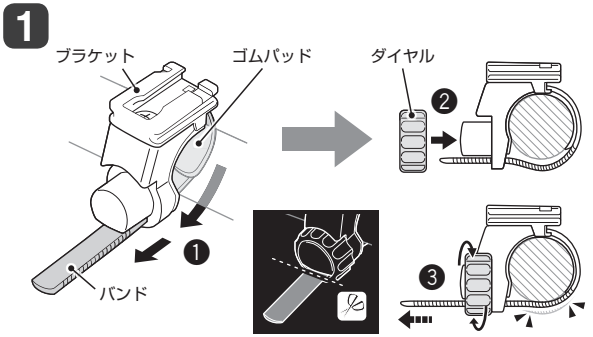
リング部

バッテリーユニットまたは
延長コード



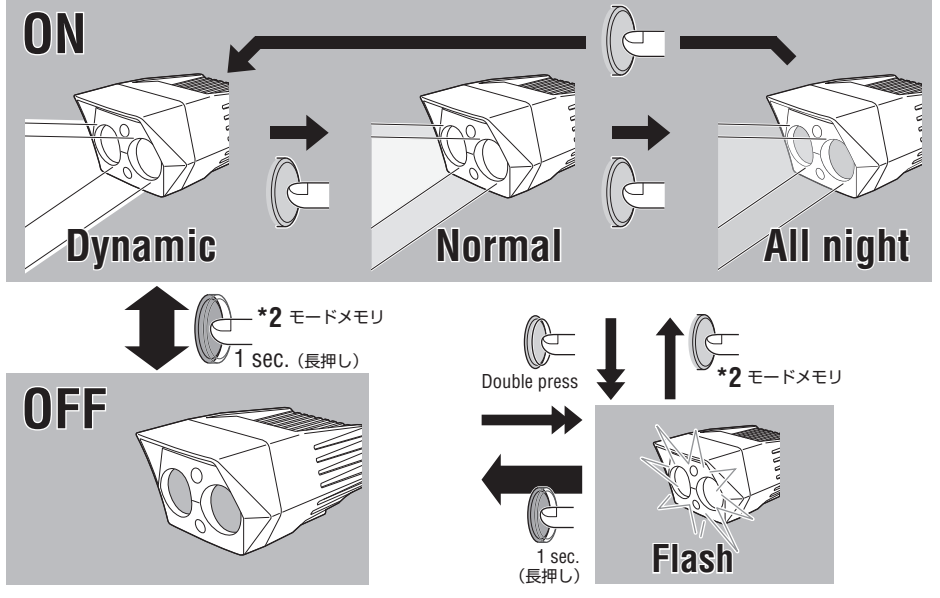
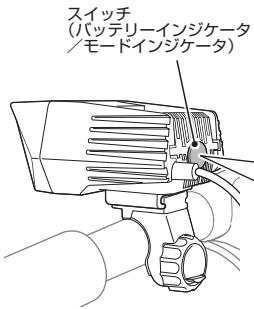
LOCK

自転車への取付方法



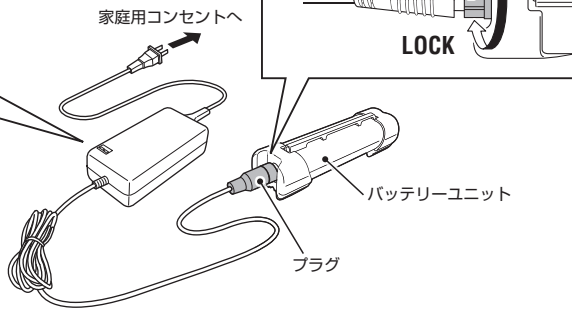
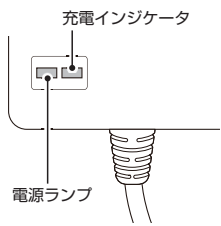
使用方法

A

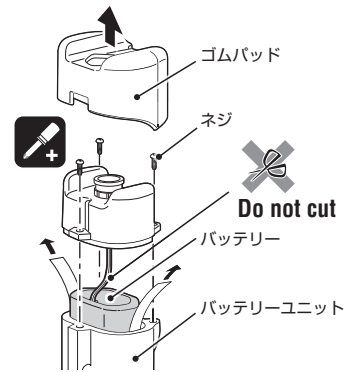


B

バッテリーチャージャー

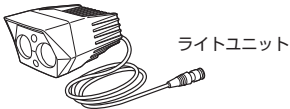


バッテリーの分解方法 (廃棄時)

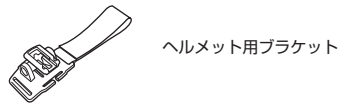


スペアパーツ

#5342160



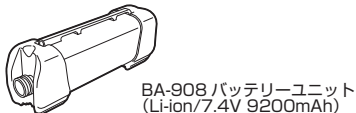
#5341831



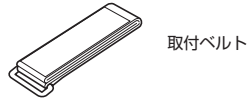
#5342290



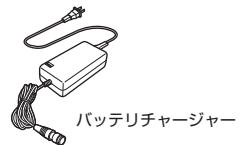
#5342130



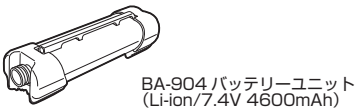
#5342170



JP: #5342303



#5342140



#5342180



#5338827



#5342190



はじめに

- ❶ ご使用前に必ず本取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後はいつでも見られるように大切に保管してください。

このたびはキャットアイ「STADIUM2 (スタジアム2) HL-EL920RC」をご購入いただきありがとうございます。

本製品は光源に新しいマルチチップLEDを使用し、従来品よりも大幅に光量アップを実現しました。バッテリーには大容量のリチウムイオン充電電池を使用しており、過酷な環境でも性能を発揮する理想的なハイパワー充電ライトです。

安全にご使用いただくために

公道での使用は控えてください。本製品は、自動車用ヘッドライトの明るさに相当するため照射角度によっては非常に危険です。

やむをえず公道で使用する場合は、対向車(者)が眩惑を起こさないよう照射角度を大きく下向きにすることを厳守してください。

- バッテリーユニットやバッテリーチャージャーのプラグはショートさせないでください。発熱や発火により火災や機器破損の恐れがあります。
- バッテリーユニットはリチウムイオン充電電池です。万一、液漏れした場合は素手でさわらず、絶対に火気に近づけないでください。
- プラグの接続やベルト類の固定は確実に行ってください。走行中に外れると消灯するだけでなく、コードを車輪に巻き込み転倒する恐れがあります。
- コードなどが傷んだ場合は絶対に使用せずに、当社製品サービス課に修理を依頼してください。
- 点灯中のライトを直視し続けしないでください。視力障害を起こす恐れがあります。
- 点灯中および消灯直後はライトユニットが高温になりますので、火傷などにご注意ください。幼児の手の触れるところに放置しないでください。
- ライトユニット、バッテリーユニット、バッテリーチャージャーは分解しないでください。車の中や暖房機の近くには保管しないでください。高温状態での充電・放電・保管は充電電池の劣化を早めます。
- 長期間放置しておくとき自己放電により電圧が低下します。プラグの接続を外して保管し、ご使用前に充電を行ってください。
- 長期間使用しない場合は、ほぼ使い切った状態で高温多湿を避けて保管してください。なお、半年に1回5分程度充電してください。
- 本体や付属部品が泥などで汚れたときは、薄い中性洗剤で濡らせた柔らかい布で拭いた後、空拭きします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使用しないでください。
- 接続プラグが泥などで汚れたときは、プラグを接続し、ロックした状態で汚れを落とすしてください。
- 本製品は雨中での使用に耐える程度の防水能力です。水に漬けて使用しないでください。
- 不意のバッテリー切れに備え、乾電池式のライトや予備のバッテリーユニットの携行をおすすめします。
- 無線式コンピュータとの距離をライトユニットは3cm、バッテリーユニットは10cm以上離して取付けてください。近すぎると送受信に影響を与える場合があります。

❶ 初めてお使いになるときは

工場出荷時、バッテリーユニットは点灯確認ができる程度に充電されています。十分な充電はされていないので、ご使用になる前に使用方法「バッテリーユニットの充電方法」に従って必ず充電を行ってください。

ヘルメットへの取付方法

❶ ヘルメット用ブラケットの取付とライトユニットの着脱

- ① ヘルメットのエアダクトにブラケットベルトを通して、しっかりと締付けます。
 - ② ヘルメット用ブラケットにライトユニットを装着します。
 - ③ コードはヘルメット後方に補助ベルトで固定します。
- ※ ライトユニットをヘルメット用ブラケットにカチッと音がするまで差込み、照射角度を調節します。

※ ライトユニットを取外すときはレバーを押しながら前方へ引抜いてください。

⚠️注意 ライトユニットの着脱は、本体の温度が十分に冷めてから行ってください。

❷ コードの接続

図のようにライトユニットとバッテリーユニットの間に延長コードを接続します。

⚠️注意 プラグはリング部を押しつけながら回転させるとロックします。必ずロックした状態でご使用ください。

※ プラグを外すときは、リング部を反対方向に回転してロックを解除してから引抜いてください。

バッテリーユニットの取扱い

バッテリーユニットはゴムパッドを外しポケットやバックなどに収納します。収納前にバッテリーユニットのコード処理、収納状態が正しいか確認してください。

自転車への取付方法

❶ ブラケットの取付とライトユニットの着脱

- ① ブラケットのバンドをハンドルバーに巻付け、バンドを孔に通します。
 - ② ダイヤルをブラケットにねじ込み、仮止めします。
- ※ ライトユニットをブラケットにカチッと音がするまで差込み、照射角度を調節します(「照射角度について」参照)。
- ③ ダイヤルを強く締付け、余分なバンドを切落とします。
 - ④ ライトユニットを取外すときはレバーを押しながら前方へ引抜いてください。

⚠️注意

- ダイヤルは必ず手で締付けてください。工具で強く締付けるとネジ山をつぶす恐れがあります。
- ブラケットのダイヤルやネジ(*)は定期的に確認し、緩みがない状態でご使用ください。
- バンドの切口はケガをしないように処理してください。
- ライトユニットの着脱は、本体の温度が十分に冷めてから行ってください。

❷ コードの接続

ライトユニットのプラグを図のようにバッテリーユニットに接続します。

⚠️注意 プラグはリング部を押しつけながら回転させるとロックします。必ずロックした状態でご使用ください。

※ プラグを外すときは、リング部を反対方向に回転してロックを解除してから引抜いてください。

❸ バッテリーユニットの装着とコードの配線

- ① バッテリーユニットのベルト保持部に取付ベルトを通します。取付ベルトは折返しベルトが、外を向くように通してください。
 - ② 取付ベルトの折返しベルトで、バッテリーユニットのベルト保持部をはさみ込みます。
 - ③ バッテリーユニットのゴムパッドをトップチューブに当て、取付ベルトを巻付けてしっかりと締付けます。
 - ④ バッテリーユニットのベルト保持部に補助ベルトを通し、ダウンチューブに巻付けてしっかりと締付けます。
- ※ 補助ベルトは、バッテリーユニットをできるだけ前方に装着した状態で巻付けてください。走行中、バッテリーユニットの取付状態を安定させることができます。
- ⑤ もう一本の補助ベルトでフレームやステムの適切な位置にコードを固定します。
- ※ 取付ベルトの折返しベルトは、コードの固定にも活用できます。
- ※ バッテリーユニットを直接フレームに装着しない場合は、バッテリーユニットのゴムパッドを外して使用できます。

⚠️注意

- バッテリーユニットはしっかりと固定してください。バッテリーユニットの固定が不十分な場合、走行中の衝撃ですれたり、外れる恐れがあります。
 - トップチューブにワイヤー類が通っている場合は、あらかじめワイヤーカバーを取付け、ワイヤーに力が加からないように保護してください。ブレーキや変速操作に支障をきたす危険です。
 - コードの配線は、ハンドル操作の際に負荷がかからないようにし、走行に支障のないように処理してください。また、コード内部で断線する恐れがあるため鋭角に曲げた状態で固定しないでください。
- ※ ご使用になる前に「照射角度について」の説明に従ってライトの角度を調節してください。

❹ 照射角度について

⚠️警告 本製品は公道での使用は控えてください。

夜間に平坦な場所でライトを点灯して、対向車(者)に直接光が当たらないように調節します。

自転車に取付ける場合は、ブラケットのダイヤルを少しゆるめ、ライトユニットの上下角度を調節します。調節後はダイヤルをしっかりと締付け固定します。

※ ダイヤルはブラケットが動く程度にゆるめてください。ゆるめ過ぎるとブラケットバンドが外れます。

※ 左右に10度ずつ調整することもできます。

使用方法

A スイッチ操作（点灯モード切替）

ライトユニットのスイッチで点灯/消灯と点灯モードを切替えます。

電源のオン/オフ（点灯/消灯）は「長押し」します。

※フラッシュは消灯状態からの操作でも作動します。

切替操作	点灯モード	明るさ	モードインジケータ	連続点灯時間
押す	ダイナミック		緑	約 1.5 時間
	ノーマル		橙	約 4 時間
	オールナイト	○	赤	約 10 時間
素早く 2 回押し	フラッシュ		なし	約 35 時間

※モードインジケータ：点灯モードを切替えた直後、スイッチが5秒間点滅し現在の点灯モードを知らせます。

※モードメモリ機能(*2)：消灯時やフラッシュから点灯に戻ったときは直前に使用していたモードに切替ります。

温度コントロールについて

ダイナミックモードで点灯中、ライトユニットの温度が上昇すると保護機能が働き、自動的にノーマルモードに切替ります。この場合、空冷効果などでライトユニットが冷めると元のダイナミックモードに戻ります。

※ライトユニットが異常に温度上昇した場合、安全機能が働き消灯します。温度低下すればスイッチ操作で再点灯が可能です。
停車時などの無風状態では、オールナイトモードでの使用を推奨します。

バッテリー残量について

ライト点灯中、スイッチの点灯色でバッテリー残量がわかります。

バッテリー残量の目安	
緑点灯	：バッテリー残量は十分にあります。
橙点灯	：バッテリー残量が残りわずかです。充電をしてください。
赤点灯	：使用を中止して充電してください。

※インジケータはあくまで目安であり、使用環境や条件によって変化します。
※インジケータが橙色に変わったら、充電する習慣をつけてください。

バッテリー残量警告機能

バッテリー容量不足による不意の消灯を防ぐため、インジケータの赤点灯と同時に、通常点灯から間欠的に点滅する状態に切替ります。

B バッテリーユニットの充電方法

① 重要

- バッテリーユニットが濡れている場合は、乾いた布でよく拭き取ってから充電してください。
 - 必ず専用のバッテリーチャージャー(100～240Vに対応)を使用してください。バッテリーチャージャーは室内専用です。
 - バッテリーチャージャーの充電インジケータが緑点滅する場合は回路の異常が考えられます。コンセントを抜いて原因を除去してください。
 - 充電を開始して数分以内にバッテリーチャージャーの充電インジケータが速い緑点滅をするときは、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、あらためて手順通りに行ってください。
使用直後などでバッテリーが高温になっているときも同様の症状が起こる場合があります。バッテリーユニットを十分に冷ましてから充電してください。
数回繰返しても改善しない場合は充電電池の劣化が考えられます。
 - 正しい充電を行っても点灯時間の著しい低下が見られる場合は、バッテリーユニットの寿命です。新しいバッテリーユニットと交換してください。
 - リチウムイオン充電電池はリサイクルできます。寿命を終えたバッテリーはバッテリーユニットから抜き取り、プラグに絶縁テープを貼付けて充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。「バッテリーの分解方法（廃棄時）」参照。
- ※バッテリーの充電状況はバッテリーチャージャーの充電インジケータで確認できます。

次の手順で充電を行ってください。

- ① バッテリーチャージャーを家庭用コンセントに差込みます。
 - ※電源ランプが赤点灯すると同時に、充電インジケータが3回赤点滅することを確認してください。電源ランプはコンセントに接続している間、赤点灯します。
- ② バッテリーユニットのプラグにバッテリーチャージャーのプラグを接続します。
 - ※充電は、プラグをロックした状態で行ってください。
 - ※充電インジケータの赤点滅が続く場合は、一度接続を外して手順通りに接続しなおしてください。
 - ※充電が完了すると充電インジケータが赤点灯から緑点灯に変わります。
- ③ 充電完了後は必ずバッテリーチャージャーをコンセントから抜いてください。

充電インジケータ点灯状態	標準充電時間
赤点灯	：充電中
緑点灯	：充電完了
赤点滅・緑点滅	：充電エラー

※標準充電時間および点灯時間は目安であり、使用時の環境により変化する場合があります。

※付属のBA-904バッテリーユニット(4600mAh)は充電開始後、2.5時間でバッテリーの約80%の充電が完了します。

※充電は、延長コードを使用せず、バッテリーユニットとバッテリーチャージャーを直結して行なってください。充電時間が長くなります。

仕様

使用光源 マルチチップ白色LED2灯
バッテリーユニット リチウムイオン充電電池 BA-904 Li-ion/7.4V 4600mAh
バッテリーチャージャー CHR-001 Li-ion (AC100V～240V 50/60Hz)
連続点灯時間 ダイナミック：約 1.5 時間、ノーマル：約 4 時間、オールナイト：約 10 時間、フラッシュ：約 35 時間
※ オプション BA-908 の場合は点灯時間が2倍になります。	
標準充電時間 約 5 時間 (オプション BA-908 の場合：約 10 時間)
使用温度範囲 充電温度：5℃～40℃、点灯温度：-10℃～40℃
繰返し充放電回数 標準 300 回 (定格容量の70%の容量低下まで)
※ 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。	

製品保証について

2年保証：ライトユニット/バッテリーユニット/バッテリーチャージャー（ただしバッテリーの劣化は除く）

正常な使用状態で故障した場合は無料修理・交換いたします。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況を明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピー等を添えて、当社宛に直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

【宛先】株式会社キャットアイ 製品サービス課

〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号

TEL: (06)6719-6863 ダイヤルイン

FAX: (06)6719-6033

ホームページ <http://www.cateye.co.jp>

Eメール support@cateye.co.jp